

2013 年白書を発刊～中国の投資環境のさらなる改善のために～ (北京)

▼在中国日系企業の生の声

2012 年 (暦年) の世界の対中投資は、2009 年以來初めて前年割れし、前年比 3.7% 減となる中、日本の対中投資は前年比 16.3% 増と好調で、過去最高を記録するなど、日本からの投資増加がひと際目立っている。

その一方で、中国市場での競争は厳しさを増しており、近年は労務・税務をはじめとするコストも大幅に上昇するなど中国の投資環境は大きく変化してきているため、在中国日系企業が直面する問題は内容が変化し、より複雑化する傾向にある。

中国日本商会は 2010 年 4 月に、中国の中央・地方政府との対話促進を目的として、中国に進出した日系企業が直面している課題の分析と解決のための建議をとりまとめた「白書」を初めて作成した。今年 6 月には、その第 4 版となる「中国経済と日本企業 2013 年白書」を発刊した。



このほど発刊された「中国経済と日本企業 2013 年白書」
http://www.cjcci.biz/public_html/whitepaper/white_paper_2013.html

この白書は、中国で長年にわたり事業に携わってきた日系企業が自ら執筆し、中国で遭遇した様々な問題点について建議を取りまとめている。また、白書の作成にあたっては、中国日本商会お

よび中国各地の商工会組織の企業 8,331 社にアンケートを取り、寄せられた中国の投資環境に関する改善要望を拾いあげている。この改善要望は、在中国日系企業の生の声であり、建議の内容として生かされている。

現在、中国日本商会では日本大使館とも連携して、中央・地方政府に 2013 年白書を持参し、その内容を説明する活動に鋭意取り組んでいる。2013 年白書には、喜ばしいことに「輸出入通関のペーパーレス化」、「模倣品対策の中央・地方での継続展開は高く評価できる」など、日系企業から寄せられた改善点も挙げられている。2013 年白書に掲載された建議内容も、改善に向けて動き出すことを期待している。

▼「中国経済における『日本』」の章を新設

2013 年白書は、「共通課題・建議」、「各産業の現状・建議」および「各地域の現状・建議」の 3 部に分かれ、全 28 章、52 の建議項目から構成されている (全項目日中対訳)。

今回の白書では、昨今の情勢の下、中国経済における日本の重要度と貢献を認識してもらうために新たに「中国経済における『日本』」という章を設け、情勢を踏まえた建議を記載した。また、「医療機器」、「安徽省の現状・建議」の項目を盛り込んだ。人口が 13 億人を超え、高齢者の割合が増加しつつあることから、巨大な医療需要が見込める市場となっていることや、中西部地域でのビジネスを展開する日系企業も増えていることを意識したものである。

当会では、白書を通じて、中国の中央・地方政府に投資環境の改善に向けた提言を行い、ともに努力することで今や世界第 2 位の経済大国となった中国の投資環境をさらによいものにしていきたいと考えている。

(中国日本商会 事務局長 山田 光良)